



葬送と墓制の現在

□オンライン開催

死生学研究所ホームページから
お申込みください

□お申込み締め切り

2024年7月17日(水) 17時

□先着 100名様

□お問合せ 死生学研究所 shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp

□参加費 無料

第3回連続講座

Hannah Gould

メルボルン大学

P.D.Fellow

(ハンナ・グールド)

7月20日(土)

16:20-17:50

メモリアリズムなき死

・西洋以外における死の未来

■プロフィール

メルボルン大学より文化人類学のPh.D.取得。現在同大学ポストドクトラルフェロー。専門分野は死、宗教、物質文化。

■主要業績

When Death Falls Apart: Making and Unmaking the Necromaterial Traditions of Contemporary Japan (University of Chicago Press, 2023)、*Aromas of Asia* (Penn State University Press)、*Death and Funeral Practice in Contemporary Japan* (Routledge, 2024)など。

内容紹介：

英語圏では死をめぐる文化実践とさまざまなモノを叙述する際に、メモリアルやメモリアル化といった用語が支配的です。これと関連して死の研究者たちは、死者が生者によってどのように記憶されるか忘却されるかを調べることで、葬儀を理論化する傾向がありました。本発表では、近刊の拙著*When Death Falls Apart* (University of Chicago Press, 2023)における知見を用いて、日本のお墓と仏壇の現在と未来を理解するために死の理論化のための概念枠組みを拡張する必要性を論じるつもりです。メモリアル化といった西洋的な視点を脱中心化することで、日本における供養を含む西洋以外の社会的な死の諸様式に迫ります。

Annual
of the Institute
for Life and Death Studies,

◆Toyo Eiwa University

死生学年報

●看取りの文化を構想する

2024

東洋英和女学院大学
死生学研究所編



LITHON

東洋英和女学院大学死生学研究所編

死生学年報2024

「看取りの文化を構想する」

◆書店にて定価2,500円+税でご注文、ご購入いただけます

◆お問い合わせ 東洋英和女学院大学 死生学研究所

shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp

お申込みはこちら



<予告>

◇第4回<公開>連続講座 9月21日(土) 16:20~17:50

辻井 敦大(甲南大学文学部社会学科専任講師)